

令和4年度熊本県公立学校教員採用選考考査第二次考査における
模擬授業題について

学校人事課

1 模擬授業について

- (1) 出願した「校種・職種・教科等」において、次の表中に示す「模擬授業の内容」を扱った授業を構想し、その授業を模擬授業として実施する。
- (2) 模擬授業の時間は入室から授業終了まで10分以内とする。
- (3) 模擬授業の会場には、黒板（チョーク白・赤・黄）またはホワイトボード（黒・赤・青）が準備してある。
- (4) 模擬授業は、受考者が本時の学習の中心と考える部分について行うこと。導入やまとめ等は不要。
- (5) 図や表、グラフ、長文等、板書に時間を要するものは、書いてあるものと想定して授業を行ってよい。
- (6) 面接員とのやり取りは、できない。
- (7) 模擬授業に持ち込み可能なものは、模擬授業メモ（A4用紙1枚）のみとし、メモを見ながら授業を行ってもよいこととする。
なお、メモの提出は不要。
また、その他の掲示物等の持ち込みは、一切不可とする。
- (8) 小学校については、国語か算数のいずれか一つを選択する。
- (9) マスク着用（フェイスシールド等は不可）とする。

2 模擬授業出題一覧

校種・教科 (科目)等		模擬授業の内容
小学校	(国語)	小学校学習指導要領（平成29年告示） 国語 〔第1学年及び第2学年〕 2 内容 A 話すこと・聞くこと (1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。
	(算数)	小学校学習指導要領（平成29年告示） 算数 〔第6学年〕 2 内容 D データの活用 (1) データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察すること。
中学校・国語		中学校学習指導要領（平成29年告示） 国語 〔第3学年〕 2 内容 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。

校種・教科 (科目)等	模擬授業の内容
中学校・社会	中学校学習指導要領（平成29年告示） 社会〔歴史的分野〕 2 内容 B 近世までの日本とアジア (1) 古代までの日本 ア 次のような知識を身に付けること。 (ウ) 律令国家の形成 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解すること。
中学校・数学	中学校学習指導要領（平成29年告示） 数学〔第3学年〕 2 内容 C 関数 (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 事象の中には関数 $y=ax^2$ として捉えられるものがあることを知ること。
中学校・理科	中学校学習指導要領（平成29年告示） 理科〔第2分野〕 2 内容 (5) 生命の連続性 (イ) 遺伝の規則性と遺伝子 (ア) 遺伝の規則性と遺伝子 交配実験の結果などに基づいて、親の形質が子に伝わる時の規則性を見いだして理解すること。
中学校・音楽	中学校学習指導要領（平成29年告示） 音楽〔第2学年及び第3学年〕 2 内容 B 鑑賞 (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。 (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性
中学校・美術	中学校学習指導要領（平成29年告示） 美術〔第2学年及び第3学年〕 2 内容 B 鑑賞 (1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。 ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
中学校・保体	中学校学習指導要領（平成29年告示） 保健体育〔体育分野 第1学年及び第2学年〕 2 内容 H 体育理論 (1) 運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 運動やスポーツが多様であることについて理解すること。 (イ) 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があること。
中学校・技術	中学校学習指導要領（平成29年告示） 技術・家庭〔技術分野〕 2 内容 D 情報の技術 (3) 生活や社会における問題を、計測・制御のプログラミングによって解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができること。
中学校・英語	中学校学習指導要領（平成29年告示） 外国語 英語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり、その内容を表現するよう音読したりする活動。

※中学校保体については、他の教科等と同様に教室での模擬授業とする。 なお、運動のできる服装、運動靴の準備は不要。